

令和7年度 第2回国見町総合計画審議会議事録

日 時 令和7年10月9日（木） 10:00～11:30

出席者 審議会委員18名（欠席者4名）

【内 容】

1. 開 会（司会：企画調整課長）

新任委員の紹介 ⇒ 渡辺勝弘委員、小林聖治委員、阿部亨委員
全委員22名中18名の出席を報告。

2. 役員選出

会長に岩崎由美子委員、副会長に八島富一委員を事務局より提案 ⇒ 承認
多くの住民が専門部会に参加し、活発な議論が行われている。住民の方一人ひとりが勉強され、先進地視察などのまちづくりに向けた活動も見受けられる。これからは官民連携が大切であり、皆さんから意見をいただき、まちづくりに反映させることが必要になると会長からあいさつがあった。

3. 審 議（進行：岩崎会長）

①第6次国見町総合計画の評価について

事務局

- ・資料1を用い、第6次国見町総合計画の評価について内容を抜粋して説明

【質疑応答】

委員

- ・12頁のMaas事業の見直しについて、2か年事業として公立藤田総合病院と連携して実施するとの話だったと思うが、見直しというのはどういうことなのか。事業に期待感を持っていたのだが、町民の足を守るための代替案はあるのか。

事務局

⇒ まちなかタクシーを適切に運用し、交通弱者への対応を行いたい。先進地視察等も行いながら、国見町に合った公共交通の仕組みを構築していきたい。

委員

- ・人口減少と高齢化が進む国見町で、まず町民が何を求めているのかを十分に検証し、国見町独自の国見町に合った施策をお願いしたい。

委員

- ・12 頁について事業の見直しを行うのであれば、KPI も併せて見直し、新たな指標が必要になるのではないか。今回の資料では修正されていないと思うが。

事務局

⇒今後本文見直しと合わせて KPI の修正も反映させる予定。次回の審議会では KPI も修正しお示しする。

②国見町過疎地域持続的発展計画の評価について

事務局

- ・資料2、資料3を用い、事業実施実績や過疎対策債の借入状況等について説明を行った。

【質疑応答】

委員

- ・資料2・4頁の給食費無償化について、過疎債が3：1の割合で充当されているという認識で良いのか。

事務局

⇒過疎対策債については3割負担の起債となる。過疎債については国の配分枠があり、上限がある中で配分をしたため、このような割合になっている。

③デジタル田園都市国家構想交付金効果検証について

事務局

- ・資料4、資料5を用い、交付金を活用した事業の効果検証についてそれぞれ説明を行った。

会長

- ・CIについて実際の活用はまだということだが、策定までに事業費が1,000万円というのは少し高いような印象を受けるが、どのような内訳なのか。

事務局

⇒現時点で、役場の封筒や職員の名刺、ピンバッジなども作成している。また、町の様々な計画の表紙など町民の方の目につきやすい所に活用している。内訳については、公募に至るまでの業務委託に450万円、デザイン活用のためのデータ制作に300万円、冊子を2万部作成し150万円、移住フェアなどで活用するためのノベルティ作成に100万円を支出しています。

会長

- ・業務委託先はどこの事業者なのか。

事務局

⇒町内事業者の株式会社家守舎桃ノ音です。

会長

- ・町内事業者に委託したのは良いこと。他の自治体だと大手広告代理店などが入っている事例がある。町のお金が都会へ流出するのは良くないことだと思っている。

委員

- ・令和6年度にC Iを活用した商品の販売は行わなかったのか。

事務局

⇒令和6年11月にC Iを決定し、利用ガイドラインの策定が令和7年3月、試作品の作成も同月のため、令和6年度中の販売には至らなかった。

④中間見直しに向けた町民アンケート結果について

事務局

- ・資料6を用い、町民アンケートの結果について報告。集計方法の変更など、前回報告時と変更となった部分について説明を行った。

【質疑応答】

委員

- ・51頁にPR動画の作成とあるが、何分ぐらいの動画を想定しているのか。今の人たちはショート動画しか見ないのではないのか。

事務局

⇒現段階で動画の詳細までは詰めていない。ただし、あまりにも長い動画では見ていただけないと考えている。いただいたご意見を参考にしたい。

⑤町総合計画審議会専門部会の経過報告について

事務局

- ・資料7、8、9を用い、これまでに行われた国見町総合計画審議会専門部会第1回および第2回の議事要旨、総合計画後期の事業一覧表について説明を行った。

事務局

- ・国見町総合計画審議会の皆様からいただいた意見に基づき、専門部会を設置し協議を行っている。専門部会は第2回まで終了し、来週には第3回目の専門部会を開催する。結果については12月の審議会で報告予定。

⑥その他

委員

- ・資料2の4頁について、町道の名称が分かりづらい。住所や地図があると分かりやすいのではないのか。また、資料1の33頁について、将来負担比率の記載があるが分かりづらいので詳しい説明をお願いしたい。

事務局

⇒将来負担比率は小さいほど財政は健全であり、国見町は問題ない数値である。

委員

- ・ふるさと納税について、メディアでは返礼品のことしか話題になっていない。ふるさと納税が我々にとって、どんなメリットがあるのか説明することが重要だと思うが。

事務局

⇒令和6年度の寄附額は3億 1,500 万円。使途についての町民へのPR方法は今後検討させていただきたい。

委員

- ・一般企業などは、お礼状を手書きで行うところもあるようだが、国見町ではどうか。

事務局

⇒お礼状については今後検討させていただきたい。

委員

- ・武田医院が今年度で閉院するとのことだが、町外へ通院する際の交通費の助成などは町として検討しているのか。

事務局

⇒梁川方面にはまちなかタクシーを運行している。町内の個人病院が閉院となれば、梁川や桑折方面へ通院することもあるかと思う。桑折方面にはまちなかタクシーを運行していないので、今後検討させていただきたい。

事務局

- ・資料10を用い、今後のスケジュールについて説明。専門部会の開催時期や12月中旬に第3回目の審議会を開催予定であることを説明した。

4. 閉 会